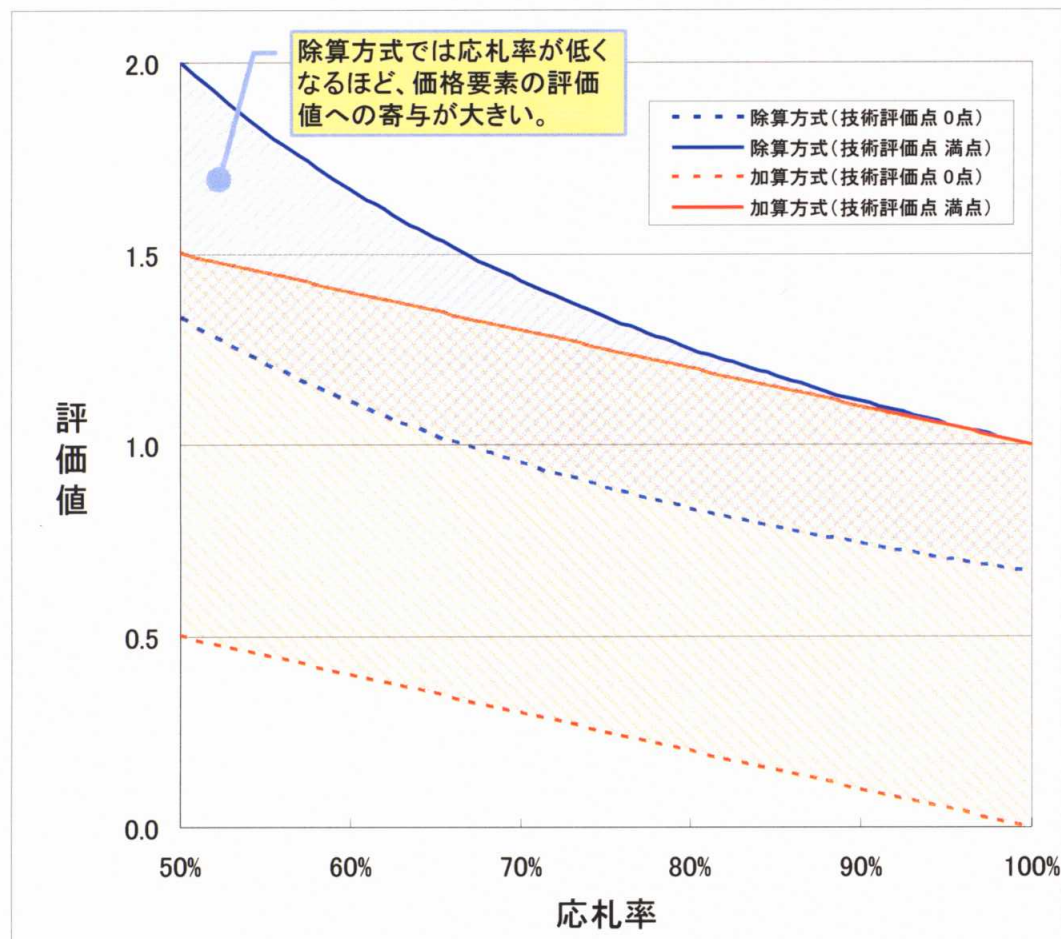


# 加算方式の試行

# 1. 加算方式の特徴

## 〔加算方式と除算方式の比較〕



※グラフ中の評価値は、入札率100%、技術評価点満点の評価値を1として正規化した値

### 除算方式

○ 加算点50点の場合

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} / \text{入札価格} \\ &= (\text{標準点} + \text{加算点}) / \text{入札価格} \end{aligned}$$

標準点 = 100点

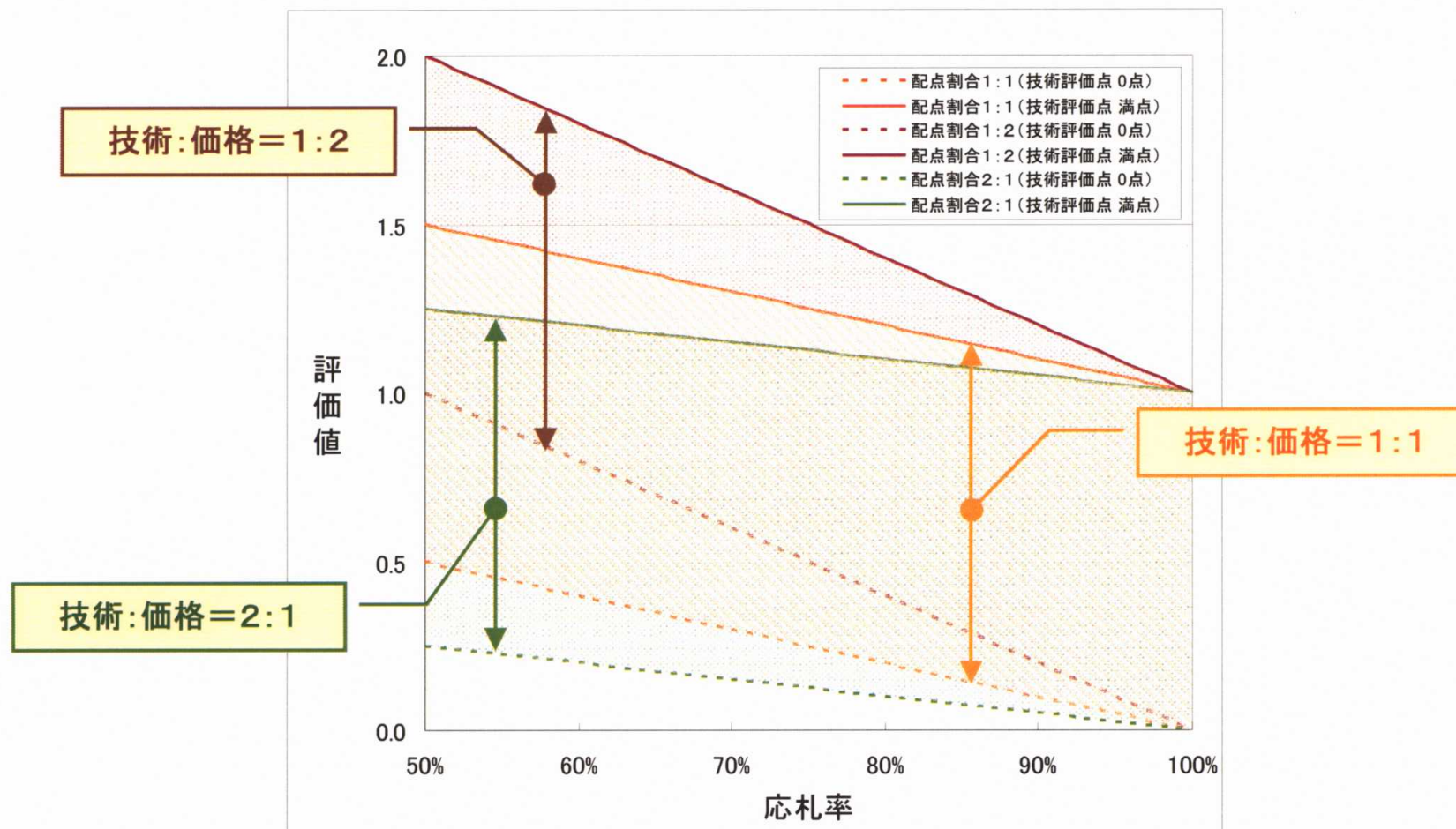
### 加算方式

○ 技術評価点50点、価格評価点50点  
(技術:価格=1:1)の場合

$$\begin{aligned} \text{評価値} &= \text{技術評価点} + \text{価格評価点} \\ &= \text{技術評価点} \\ &\quad + 50 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \end{aligned}$$

# 1. 加算方式の特徴

## 〔加算方式における配点割合の影響〕



※グラフ中の評価値は、入札率100%、技術評価点満点の評価値を1として正規化した値

## 2. 加算方式による入札シミュレーション

### 〔具体事例におけるシミュレーション〕

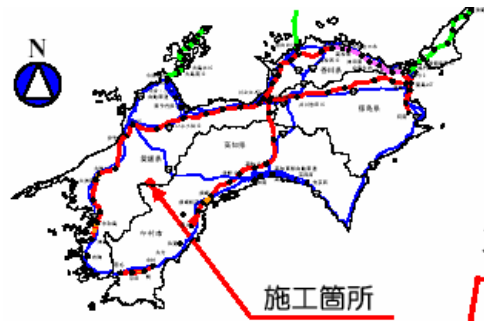
低価格入札が含まれる事例であり、加算方式により技術評価がより反映され、低価格入札以外の者が落札予定者となる。

| 入札者 | 応札率   | 除算方式                    |      |    | 加算方式                                      |       |      |    |
|-----|-------|-------------------------|------|----|---|-------|------|----|
|     |       | ・標準点=100点<br>・加算点満点=30点 |      |    | ・価格評価点=30×(1-(入札価格/予定価格))<br>・技術評価点満点=30点 |       |      |    |
|     |       | 技術評価点                   | 評価値  | 順位 | 価格評価点                                     | 技術評価点 | 評価値  | 順位 |
| A   | 61.1% | 103.4                   | 39.9 | 3  | 11.7                                      | 3.4   | 15.1 | 11 |
| B   | 67.1% | 120.0                   | 42.1 | 1  | 9.9                                       | 20.0  | 29.9 | 3  |
| C   | 69.5% | 118.0                   | 40.0 | 2  | 9.2                                       | 18.0  | 27.2 | 7  |
| D   | 77.9% | 122.6                   | 37.0 | 4  | 6.6                                       | 22.6  | 29.2 | 5  |
| E   | 80.1% | 104.6                   | 30.8 | 12 | 6.0                                       | 4.6   | 10.6 | 13 |
| F   | 81.7% | 126.2                   | 36.4 | 5  | 5.5                                       | 26.2  | 31.7 | 2  |
| G   | 84.8% | 117.2                   | 32.6 | 8  | 4.6                                       | 17.2  | 21.8 | 8  |
| H   | 84.9% | 111.8                   | 31.0 | 11 | 4.5                                       | 11.8  | 16.3 | 10 |
| I   | 85.5% | 100.0                   | 27.5 | 14 | 4.3                                       | 0.0   | 4.3  | 14 |
| J   | 86.0% | 106.8                   | 29.3 | 13 | 4.2                                       | 6.8   | 11.0 | 12 |
| K   | 87.6% | 117.8                   | 31.7 | 9  | 3.7                                       | 17.8  | 21.5 | 9  |
| L   | 88.4% | 125.8                   | 33.5 | 7  | 3.5                                       | 25.8  | 29.3 | 4  |
| M   | 89.0% | 129.8                   | 34.3 | 6  | 3.3                                       | 29.8  | 33.1 | 1  |
| N   | 94.2% | 126.0                   | 31.5 | 10 | 1.7                                       | 26.0  | 27.7 | 6  |

※赤字は調査基準価格未満

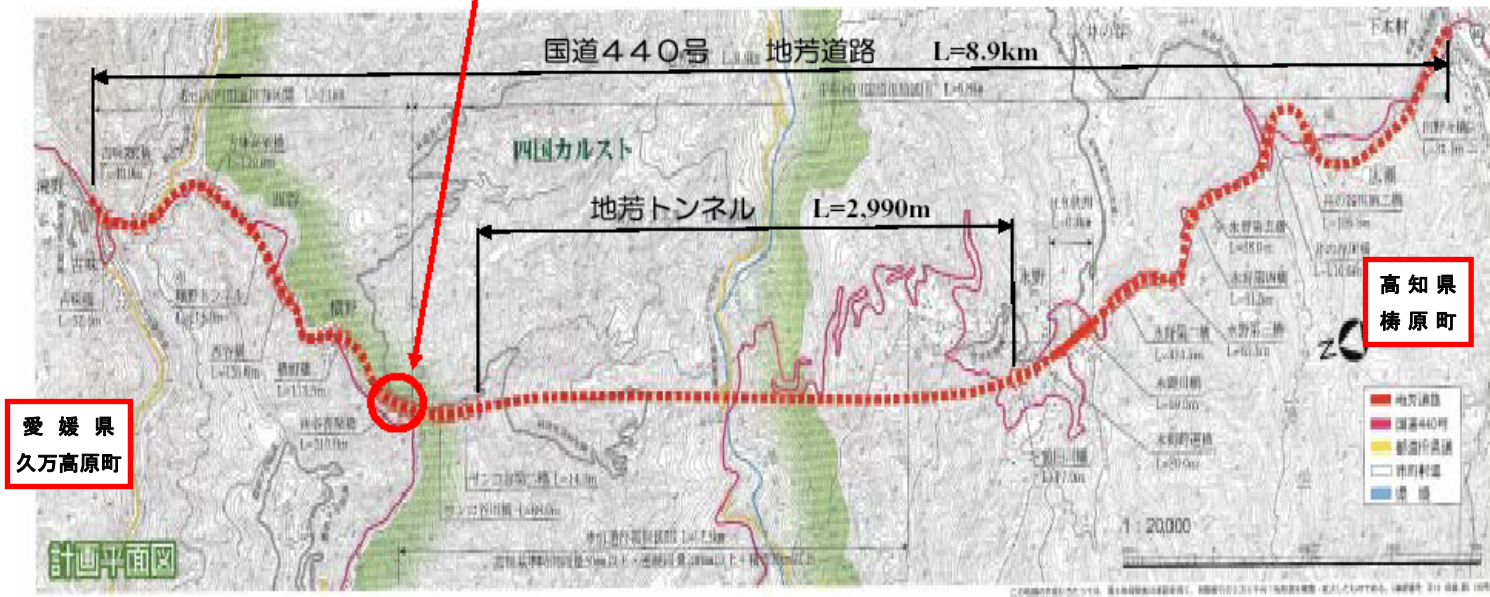
# 〔参考〕加算方式の試行事例

にしたに  
 平成19-21年度 西谷高架橋工事  
 (設計・施工一括発注方式)

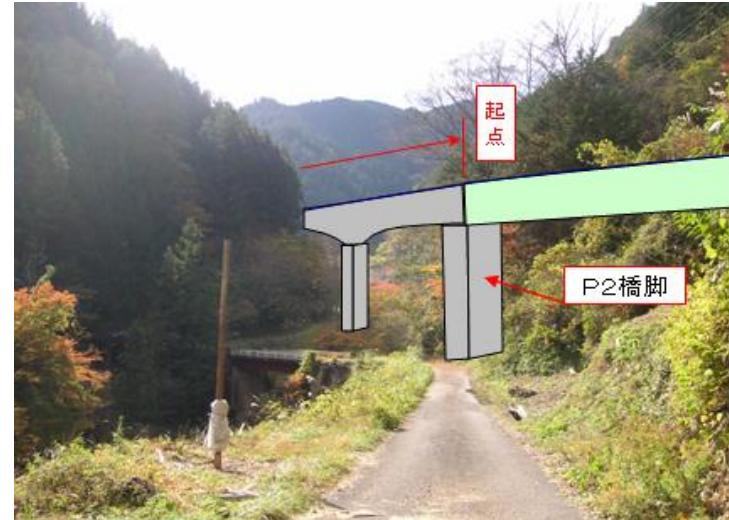
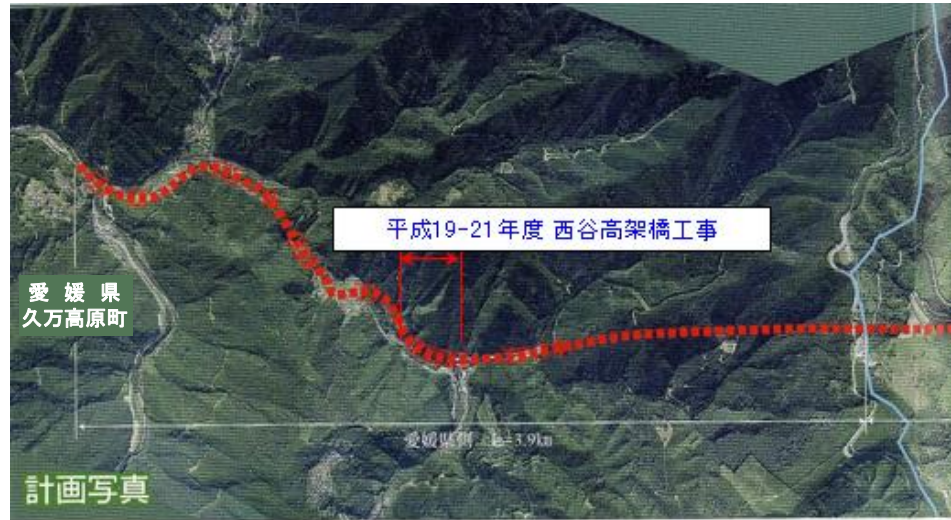


- 一般競争入札方式(政府調達協定適用案件)
- 総合評価落札方式(高度技術提案型)

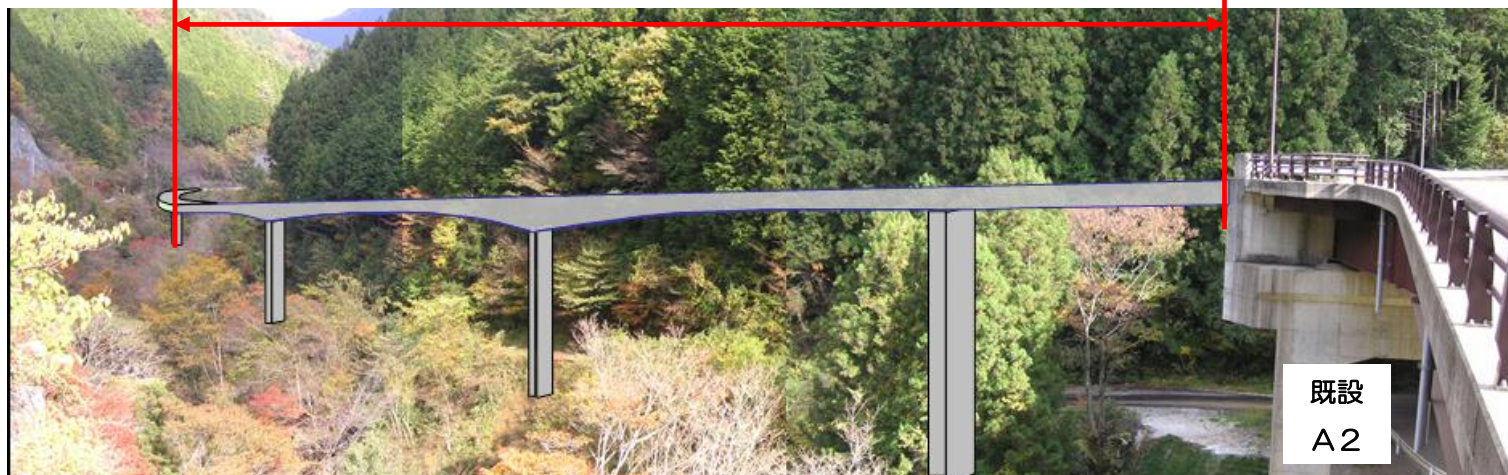
平成19-21年度 西谷高架橋工事



# 現地状況写真



平成19-21年度 西谷高架橋工事 設計・施工一括発注区間 L=232.0m



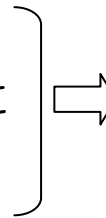
※橋梁は想定橋梁のイメージで記載してある

# 総合評価落札方式の概要

## 1. 高度技術提案型（Ⅱ型）の適用について

本架橋区間は、

- ・地滑り地帯が隣接していること
- ・一級河川に淀川水系高野川を渡河すること
- ・並行する林道を確保すること
- ・自然環境への影響を考慮すること



様々な条件が要求される

極めて難易度の高い工事

想定される有力な構造形式や工法が複数存在し、発注者が一つの構造・工法に絞り込むことが難しい状況

優れた技術を持つ民間企業から高度な技術を幅広く求め、構造上の工夫や特殊な施工方法等を提案させる必要がある。

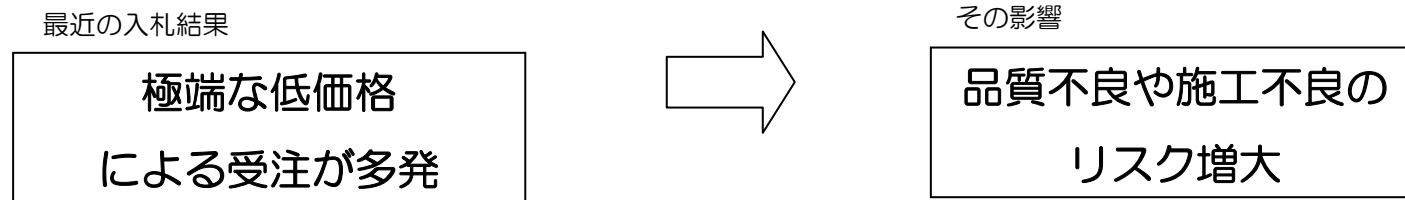


「高度技術提案型総合評価方式（Ⅱ型）」を適用する。

本方式は、技術提案とそれに要する費用の見積を求め、審査、ヒアリング、改善することにより、品質と価格に優れた調達が可能になる方式である。

# 総合評価落札方式の概要

## 2. 加算方式の適用について



施工の確実性を実現する技術力により、リスクを低減し、工事品質の確保を図る

技術等に対する得点配分が高い「加算方式」を適用試行

### ① 評価値の算出方法

評価値 = 価格評価点 + 技術評価点

### ② 価格評価点の算出方法例

$\alpha \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$  ※本工事の場合： $\alpha = 50$ 点

### ③ 技術評価点の設定の考え方

入札価格による配分得点と、技術等に対する得点配分が等しく  
(1 : 1) となるよう決定する。